

# 機械に関わる仕事

安全・安心な暮らしを最先端の機械の力で支えます。



除雪現場の生産性向上の取組(準天頂衛星を活用した除雪作業の自動化)



生産性向上の取組 (堤防除草の自動化)

河川堤防除草の生産性向上のため、ICT(情報通信技術)を活用した除草機械の自動化に取り組んでいます。



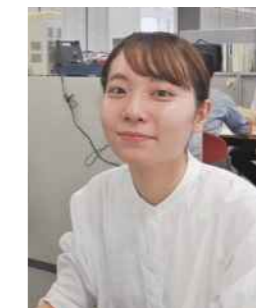
災害対策用機械の配備 (遠隔操縦式バックホウ)

様々な災害に対応するため、災害対策用機械の配備を行っています。これは危険な場所でも安全にリモート操作が可能なバックホウによる応急復旧作業の状況です。



機械設備の更新・維持管理 (排水機場)

大雨などによる田畑や家屋の浸水被害を防ぐため、雨水などをポンプ設備により河川へ強制的に排水します。必要な時に確実に運転できるように計画的な更新・維持管理を行っています。



時岡 心

TOKIOKA KOKORO

卒業・修了 東京海洋大学 卒業  
試験区分 一般職(大卒程度)試験  
機械  
採用年度 2022年採用  
現所属 旭川開発建設部  
施設整備課

河川用機械設備は国民の命や社会基盤を水害から守る重要な設備です。私は、それらの設備が常に確実に作動できるよう、点検整備や老朽化した設備の更新工事の設計・積算・監督業務を担当しています。

自分の担当する設備について何も知らなかった私ですが、実際に現場に行き、その度に新しい知識や発見を得られることは面白く、設備の仕組みを知り、自分の仕事の重要性を意識したときやりがいを感じます。デスクワークだけでなく、現場にも行くことで得られるものは多くあり、自分の糧とし業務に活かすことができている。

全道という大きなスケールで、河川・道路・港湾・農業の機械設備と様々なジャンルで仕事ができることが開発局の魅力の一つだと思います。また、入局してて右も左も分からない私に上司の方々は優しく丁寧に教えてくださり、働く環境の良さも魅力だと思います。



湯口 香烈

YUGUCHI KORETSU

卒業・修了 北見工業大学 卒業  
試験区分 一般職(大卒程度)試験  
機械  
採用年度 2019年採用  
現所属 本局 事業振興部  
技術管理課

私は「新技術」の審査、登録、評価、普及や促進に携わっています。対象は土木のみならず、機械や電気、港湾、農業など、全道からあらゆる分野の新規申請が届きます。新技術は新鮮で多種多様です。例えば「道路にレーザーを照射する技術」や「AR技術による除雪効率化」、「自己治癒コンクリート」から「仮設トイレの前囲い」まであります。ヒアリング時は「照射の方法は」「3次元データ取得方法は」と質問しつつ、成立性などを確認します。私の大学の専門は機械工学だったので、機械の技術では話が弾んだりもします。

この仕事で一番面白く、やりがいを感じるの、担当した技術が現場で活用され、情報誌やSNSで大きく取り上げられたときです。事業振興部には、国の施策に自分が携わる実感を得られる、スケールの大きな仕事がいっぱいあります。先端技術に興味があるみなさん、ぜひ一緒に働きましょう！